

SS エアクッション

取扱説明書

目次

SS エアクッションの特長

安全にお使いいただくために	1
梱包内容と各部名称	2
使用方法と空気量の調整	3
トラブルシューティング	4
お手入れ方法	5
保管廃棄リサイクル	6
保証について	7

SS エアクッションの特長

- 本品は車いす及び、いす用の空気圧調整式のエアクッションです。
特殊エアセルによる優れた体圧分散効果で床ずれを防止し、キズの保護や痛みの緩和が図れます。
- 国内工場で作られた日本製品です。エアセル・カバー・ベースシート共に、床ずれ防止用エアマットレスに使用される素材であり、お手入れも簡単です。
- 座面サイズ 38 cm×35 cm、厚さ 7 cm に対し、重さは約 500g と超軽量なので持ち運びにも便利です。

ご使用の前に

- ▼このたびは「SS エアクッション」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
- ▼この取扱説明書には、安全にお使いいただくために大切なことが書いてあります。
よくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後はいつでも目を通せるところに保管してください。本品を譲渡、もしくは貸与される場合には本書を添付してください。

竹田エアマット株式会社

1. 安全にお使いいただくために



警告

- ▼本製品は内部構造の特性上、エアセル内の空気が流動しやすい構造になっています。そのため体勢を傾けると空気が流動し、座面が傾斜しやすくなります。
体幹の弱い方や自力で姿勢を保持することのできない方がご使用する際は、特にご注意ください。
転倒やケガ、事故等の原因となる恐れがあります。
- ▼本体を分解・改造されますと、保証を受けることができないばかりでなく、大変危険ですのでおやめください。
- ▼本書に示した作業をご自身で実行できない場合は、介助者にサポートをご依頼ください。

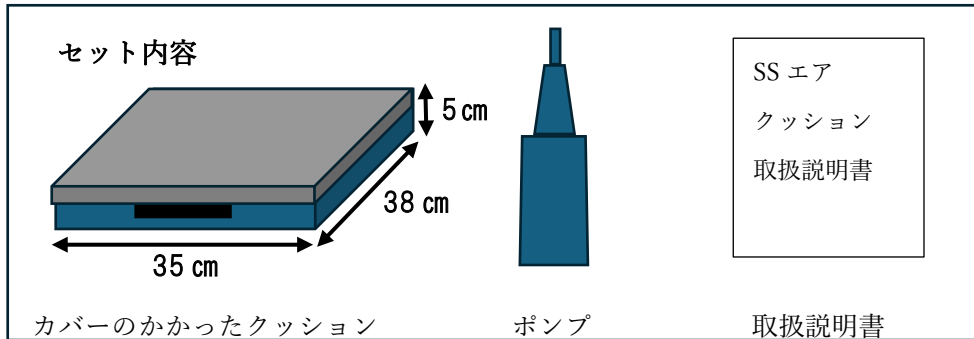


注意

- ▼クッションがご使用の車いすや、いすに適合するか、サイズを確認してください。サイズが合わない则クッションの効果が損なわれ、けがの原因となったり、車いすから転落するなどの事故の原因となります。
- ▼本品は一人用です。複数人で使用しないでください。また、液体やパンク防止剤を注入しないでください。
- ▼必要以上にエアを注入するとクッションが破損する恐れがあります。
- ▼同梱エアポンプ以外を使用してエア注入する場合は、特にご注意ください。
- ▼着座した状態や物を乗せた状態でエアの給気は行わないで下さい。クッション、ポンプ共に破損の恐れがあり、けがの原因になります。
- ▼100 kg未満の方に安全にお使いいただけます。それ以上の負荷は性能が上手く発揮されないだけでなく、パンク等故障の原因となります。またご使用の際は、ドスンと勢いよく座らないようにご注意ください。
- ▼クッションに鋭利な物を近づけたり、部分的に押したり引っ張ったり、つぶしたりしないでください。パンクの原因となります。
- ▼クッション(カバー及びエアセル)が、油性の潤滑油や、ローションに触れないようにしてください。素材が劣化する場合があります。化粧液、軟膏、治療薬等も素材に直接触れないように注意し、触れた場合には速やかに拭き取ってください。
- ▼空気注入バルブを取っ手として使用しないでください。破損の原因となります。持ち運ぶ際は、クッションのベース部分または取っ手を持つようにしてください。
- ▼水中や 65℃以上の高温多湿の場所では使用しないでください。製品の破損やけがの原因となります。
- ▼クッションの表面は、周囲の温度に応じて高温または低温になります。特にクッションが直接皮膚に触れる場合にはご注意ください。
- ▼エアセル内の空気は気圧差や気圧の変化に影響を受けます。航空機内など、高度や気圧が大幅に変化する場合には使用しないでください。
- ▼赤みやあざなど、皮膚・軟部組織に異常が現れた場合は、直ちに使用を中止し医師の診察を受けてください。
- ▼カバーと部品の破損や故障は定期的に点検し、必要に応じて交換してください。

2. 梱包内容と各部名称

<梱包内容> 梱包を開け、以下の内容物が揃っているかご確認ください。



注意

▼商品に破損や欠品があるときは、到着後使用せずに 1 週間以内にお買い求めになった販売店にご連絡ください。

<材質> エアセル／ポリウレタンフィルム、カバー／ポリウレタンフィルムラミネート加工布、
ベースシート／PVC ターポリン

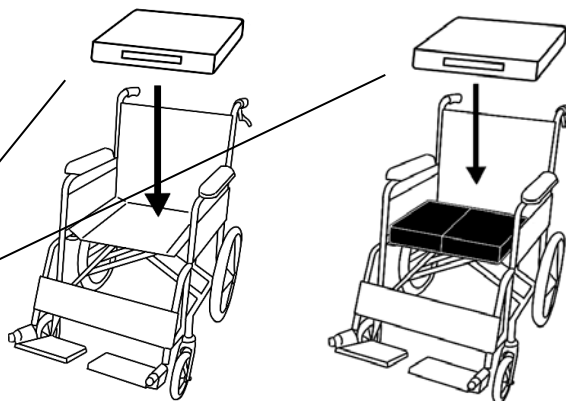
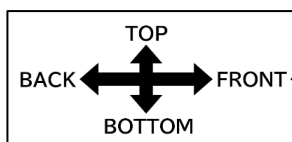
3. 使用方法と空気量の調整

使用方法は2つあります。

- ①座面に SS エアクッションのみを敷いて使用する方法
 - ②他のクッションの上に SS エアクッションを敷いて使用する“オーバーレイ”
- それぞれ空気調整方法が異なりますのでご注意ください。

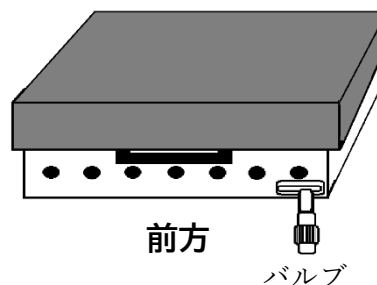
【共通する基本的な使用方法】

- ①カバーがされた SS エアクッションを、
使用する車いすや、いすの座面に置きます。
側面に使用方向の表示があります。
持ち手ハンドルを前方に、
グレーのカバーを上面にしてください。



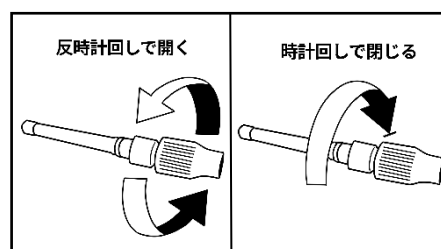
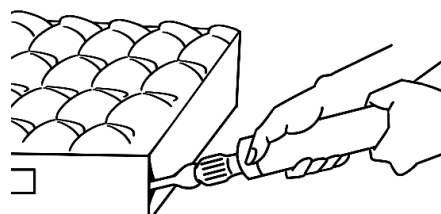
- ②チューブの出し口

クッションの前方左側から
バルブチューブを出しています。
外部に出したままでも、ベースカバーの中に
しまって使用しても構いません。
なお、外部に出したまま使用の場合は製品の破損や、
人体への接触によるけがに
十分にご注意ください。



- ③バルブを反時計回りにして開き、
ポンプのノズルをつないで空気を入れます。
水色のバルブに、ポンプの透明チューブを
被せるように繋ぎます。
しっかりと押し込んでください。

バルブをゆっくりと開閉することで、
空気量を調整します。
バルブを時計回りにして閉めます。





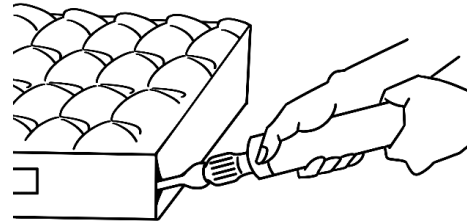
Takeda Air Mattress

① SS エアクッションのみで使用する場合は空気量の調整

【左右どちらか片側に体重を預けても底着きしないように調整します。】

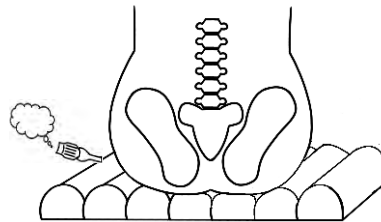
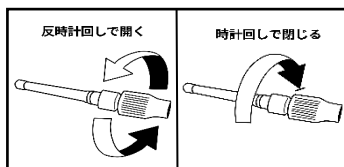
①クッション全体にエアー給気します。

座面がエアセルのふくらみで盛り上がる
くらい入れてください。



②着座し、ゆっくりバルブを開きエアーを抜きます。

柔らかさを感じたら一度バルブを閉めます。



③クッションの上に座ります。

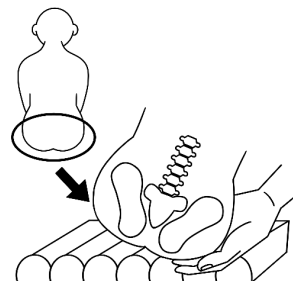
臀部とクッションの間に片手を入れます。

指先が坐骨結節(坐骨の突起した部分)に触れるように

手を差し込み、お尻を降ろします。

片手を入れた方に体重を寄せ、

底着きが発生しないか確認します。



④底着きが発生している場合は空気の抜き過ぎですので、エアーを補充して再度調整してください。

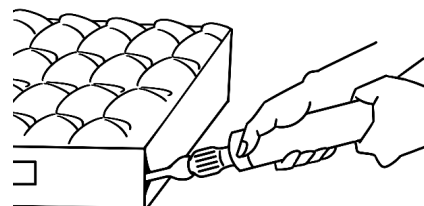
備考

▼本書において、説明するうえであえて専用カバーを外した状態で表示しています。
実際に使用される場合はカバーをご使用ください。

②オーバーレイで使用する場合の空気量の調整

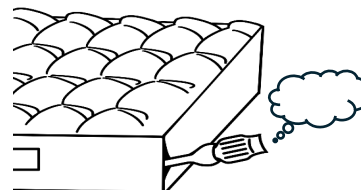
①クッション全体にエア給気します。

座面がエアセルのふくらみで盛り上がる
くらい入れてください。



②着座はせずに、ゆっくりバルブを開きエアーを抜きます。

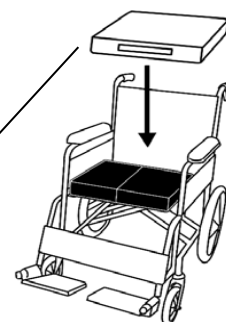
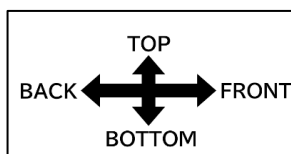
(この時、クッションに触れたり、クッションの上に
物を置いたりして、排気を助長しないようにしてください。)



③自然に排気が止まったらバルブを閉め、

車いすやいすのクッションの上に敷いて着座します。

空気の入りすぎや抜けすぎを感じる場合は調整してください。



⚠ 注意

- ▼空気が少なすぎると座面が底面についてしまう「底着き」の状態になり、また、過剰に入りすぎていても体圧分散の効果がなくなります。空気量が適切かどうか毎日確認し、適切な空気量で使用してください。
- ▼空気を入れる際はエアセルが極端に膨らまないようにゆっくりと行ってください。調整の時も微調整しながらゆっくりと排気してください。
- ▼エア調整時はバルブ部分を持ち、閉める際は手で完全に閉めてください。なお、力強く閉め込みすぎると、バルブを破損させる恐れがありますのでご注意ください。
- ▼オーバーレイでの使用の際、SS エアクッションの下に敷くクッションは、平らで安定し適正サイズのものを使用してください。円座等のクッションをはじめ不安定なクッションでは、体圧分散が適切に行われず、けがや事故の原因となります。
- ▼クッションに座る際は、できるだけ柔らかく凹凸の無い素材の衣服をおすすめします。硬い突起物等が付いている場合や粗い素材の場合、クッションとの擦れを招き、利用者の皮膚及びクッションにダメージを与える恐れがあります。
- ▼ご使用の際は、定期的にプッシュアップを行ってください。
- ▼穴があいたり切り傷を作ったりした際には、速やかに購入元に修理を依頼してください。

4. トラブルシューティング

解決しない場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

▼空気が漏れている

クッションに空気を注入します。空気注入バルブとホースに損傷がないか確認します。

空気注入バルブがしっかり閉じていることを確認します。

クッションのパンクを探します。目視でパンク箇所が見つけれない場合は販売店にお問い合わせください。

※水に浸ける等を行わないでください。

▼空気を注入できない、または空気が抜けない

空気注入バルブが開いていることを確認します。空気注入バルブとホースに折れ等の損傷がないかを確認します。

▼快適に座れない、または安定しない

クッション内の空気の偏りなどにより、クッションに体がなじむまで時間がかかることがあります。

また、空気圧不足または過多の可能性があります。「3. 使用方法と空気量の調整」を参照ください。

エアセルとカバーの座面が上になっているか、クッションが着座位置からずれていないか、ご使用になる方と車いすに適合するサイズのクッションを使用しているか、をご確認ください。

▼クッションが滑る

側面のラベル表示を確認し、ベースシートが底面になっていること確認します。

5. お手入れ方法

お手入れ前にクッションから専用カバーを外します。

ベースシートからファスナーを開けることでカバーを取り外します。

警告

- ▼指定の洗浄・消毒方法以外の方法で洗浄・消毒を実施して製品に異常が発生した場合、保証が受けられなくなる可能性があります。
- ▼エアセルをベースシートから取り外す等の分解はしないでください。細かな部品を紛失したり破損したりする原因となり、その後の使用が継続できなくなったり保証が受けられなくなる可能性があります。
- ▼消毒の前に洗浄をしてください。
- ▼別の方が使用される場合は、本製品を洗浄・消毒し、適切に機能していることを確認してください。
- ▼特にエアセル、ベースシートはデリケートな素材です。しっかりと洗浄消毒方法を確認して実施してください。
- ▼本製品は、殺菌状態で梱包されたものではありません。また、使用前に殺菌・殺菌を必要とする製品でもありません。病院、施設等のプロトコルで殺菌が必要な場合は、所定の指示に従い洗浄と消毒を実施してください。
- ▼クッションは手洗い、手作業での消毒、自然乾燥を強く推奨します。高温水により、本製品が変色したり、ラベルがはがれる場合があります。
- ▼エアセル、ベースシートは洗濯機で洗えません。カバーは洗濯機で洗えます。弱流で洗ってください。
- ▼カバーを洗濯機で洗浄する場合は、洗濯機の容量をご確認ください。容量が十分でないと、汚れを除去できない場合があります。
- ▼すすぎは十分にしてください。洗剤が残っているとエアセルや部品が貼りついてしまう場合があります。
- ▼洗剤容器の表示や安全上の注意事項に従ってください。
- ▼研磨材、食洗器用苛性洗剤、石油系溶液、有機溶剤を含む洗剤は使用しないでください。クッションの損傷の原因となる場合があります。
- ▼殺菌力が強力で濃度が高いほど、また殺菌の頻度が多いほど早く劣化し変色や摩耗が進みます。
- ▼高温殺菌、オゾン殺菌での殺菌処理や、ボビドンヨード等の強い殺菌剤の使用はしないでください。
- ▼ドライクリーニング、オートクレープ、アイロン、スチームプレス、乾かす際の乾燥機やドライヤーは、製品を傷めますので使用しないでください。
- ▼万が一、製品が損傷した場合は使用を中止してください。損傷した製品を使用すると、効果が低下するだけでなく、皮膚・軟部組織へのリスクが高まります。

【カバー、エアセル、ベースシートの洗浄】

- 1) エアセルの空気を抜き、バルブをしっかりと閉めてから行ってください。
- 2) 基本的にはぬるま湯での手洗い、もしくは清拭してください。
洗剤を使用する場合には、中性洗剤を使用してください。
- 3) 柔らかいスポンジまたは布を使い手洗いしてください。
- 4) 洗い終わった後は水気をよく拭き取り風通しの良い場所で陰干ししてください。熱に弱いので、直射日光を避け、乾燥機やドライヤー、タンブラー乾燥は行わないでください。

【カバー、エアセル、ベースシートの消毒】

消毒用アルコール、消毒用エタノールにて清拭することで、消毒してください。

【カバーの洗濯機による洗浄】

- 1) カバーを洗濯ネットに入れ、洗濯機に入れます。
- 2) ぬるま湯 (30℃～40℃) を使用し、洗濯用洗剤、または洗濯機やクッションに無害な洗剤／バイオサイド（殺生物剤）を洗剤投入口に入れます。
- 3) 高速回転しない、ソフトコースを設定します。十分にすすいでください。
洗剤が残っていると、エアセル等部品が貼りついてしまう場合があります。
- 4) カバーを洗濯ネットから出し、直射日光を避け、自然乾燥させます。

6. 保管・廃棄・リサイクル

【保管】

- 1) 保管前に、洗浄と消毒を行います。空気注入バルブを開き、製品の空気を抜きます。
- 2) 製品を購入時のビニール袋と箱など湿気、汚染、破損から守る容器に収納します。
- 3) 高温多湿を避け、直射日光が当たらない場所で保管してください。
- 4) 変形や傷の原因となりますので、製品の上には物を載せたり、製品を紐でしばったりしないでください。

【廃棄】

地域の規定に従い、正しい方法で処分してください。

本書に記載の製品は、適切に使用し、地域の規制に従って廃棄した場合、その構成部品が既知の環境危険因子に関連することはありません。

焼却する場合は、認可を受けた正規の廃棄物管理施設で処理してください。

【リサイクル】

本製品のリサイクル方法については自治体にご確認ください。

7. 保証について

□保証請求方法

製品の保証請求をされる場合は、最終ページの『保証書』に必要事項をご記入の上、お買い求めの販売店までご連絡ください。

●保証期間

12 ヶ月

※クッションの耐用年数は約 5 年です。

●無償修理について

取扱説明書にもとづく正常な使用状態で故障した場合には、保証書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無償修理をさせていただきます。ただし、当社が修理不可能と判断した場合は無償交換させていただきます。同一箇所、同一事由による修理で、先の修理完了後 3 ヶ月以内に再修理となった場合は、無償にて修理させていただきます。

※ 以上の記載内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、2 次的に発生する損失の補償はいたしません。

※ 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

※ 本保証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

●有償修理について

以下の場合、保証期間内でも有償修理になります。

- 1, 取扱説明書に記述の無い使用方法、修理方法、分解及び改造、お手入れ方法、保管方法を起因とする場合
- 2, お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障又は損傷
- 3, 事故や自然災害（洪水、竜巻、地震、火災など）並びに公害等の外部要因による故障又は損傷
- 4, 車両や船舶、飛行機などに搭載された場合に生じる故障又は損傷
- 5, 補償請求手続きに不備がある場合（例：保証書のご提示がない、各欄に記入がない、あるいは字句を書き変える等の不正行為があった場合）

※ 専用カバーは消耗品で、ポンプは当社での修理が不可能です。よってこれらは無償修理の適用から除外させていただきます。（初期不良があった場合のみ交換させていただきます）

※ 修理に要する送料等の諸経費については、お客様負担とさせていただきます。

※ 破損の状況によっては、有償修理ができない場合があります。

保証書



購入商品	SS エアクッション(38×35)
保障期間	12 か月
購入日	年 月 日
お客様	お名前
	ご住所 〒
	電話番号☎
販売店	店名
	住所 〒
	電話番号☎

※ 購入日、購入店舗情報が確認できる領収書等を保証書と一緒に大切に保管して下さい。

※ 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。

保証対象 : SS エアクッション本体の材料および製造上の欠陥

保証期間 : 12 ヶ月。保証期間の起算日は販売元から利用者へ販売した日付(購入日)となります。

保証を受ける場合 : 購入元にお問い合わせください。事前の承諾なくお送りいただいた製品は、返送いたします。
その場合、送料はお客様のご負担となります。

返品条件 : 新品未使用の場合に限り、事前にお問い合わせください。返品手数料がかかる場合があります。

●無償修理について

取扱説明書にもとづく正常な使用状態で故障した場合には、保証書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無償修理をさせていただきます。ただし、当社が修理不可能と判断した場合は無償交換させていただきます。同一箇所、同一事由による修理で、先の修理完了後3ヶ月以内に再修理となった場合は、無償にて修理させていただきます。

※ 以上の記載内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、2次的に発生する損失の補償はいたしません。

※ 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

※ 本保証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

●有償修理について

以下の場合、保証期間内でも有償修理になります。

① 取扱説明書に記述の無い使用方法、修理方法、分解及び改造、お手入れ方法、保管方法を起因とする場合

② お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障又は損傷

③ 事故や自然災害（洪水、竜巻、地震、火災など）並びに公害等の外部要因による故障又は損傷

④ 車両や船舶、飛行機などに搭載された場合に生じる故障又は損傷

⑤ 補償請求手続きに不備がある場合（例：保証書のご提示がない、各欄に記入がない、あるいは字句を書き変える等の不正行為があった場合）

※ 専用カバーは消耗品で、ポンプは当社での修理が不可能です。よってこれらは無償修理の適用から除外させていただきます。（初期不良があった場合のみ交換させていただきます。）

※ 修理に要する送料等の諸経費については、お客様負担とさせていただきます。

※ 破損の状況によっては、有償修理ができない場合があります。

竹田エアマット株式会社

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比 3-36-10-405